

# 105-174

## 問題文

治療薬物モニタリング(TDM)が有効な薬物の特徴として、適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 体内動態の個人間変動が大きい。
2. 治療域が中毒域と接近している。
3. 血中薬物濃度と薬効・副作用の相関が不明である。
4. 他の方法では薬効・副作用を判定するのが困難である。
5. 臨床投与量の範囲において、投与量と血中薬物濃度の関係が非線形性を示す。

---

## 解答

3

## 解説

選択肢 1 は適切です。

個人間変動が大きいため、各個人の血中薬物濃度を測定することにより個別に適した薬物治療を行うことができます。

選択肢 2 は適切です。

シビアなコントロールが必要な薬物に対して、適切なモニタリングを行いつつ投与することにより、中毒域を避け、有効な効果を発揮させることができます。

選択肢 3 は適切ではありません。

薬物濃度と薬効や副作用に相関がないのであれば、血中薬物濃度を測定する意義がないと考えられます。

選択肢 4 は適切です。

他の方法、例えば副作用がすぐ表れ、はたからすぐわかるのであれば、副作用が出たらすぐ投与をやめればよいです。他の方法で判定困難であれば、TDM の意義があると考えられます。

選択肢 5 は適切です。

投与量から血中濃度が推定できなくなるため、TDM のモニタリングが必要です。

以上より、正解は 3 です。